

『八丁味噌を愛した著名人』

～ 小柳津要人 ～

1844年（弘化元年）～ 1922年（大正11年）

愛知県岡崎市出身。岡崎藩士・実業家・丸善社長。

幕末期に岡崎藩を脱藩し各地を転戦。函館五稜郭で敗れた後、謹慎を経て、福沢諭吉の勧めで丸善に入社。その後3代社長に選任され、「洋書の丸善」の基礎を作りました。「士魂商才」と福沢諭吉が評しました。

大正4年に愛知県岡崎市で開催された「徳川家康・本多忠勝両公三百年祭」の祭典副総長を志賀重昂と務めました。

当社史料室には大正時代に頂いた年賀状が残っています。又、当社の社史「山越え谷越え350年」に縁の深い人物として紹介されています。

今年（平成30年）は明治維新から150年になります。

